

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2018年												2019年																	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~3日	11月 ~10日	11月 ~17日	11月 ~24日	12月 ~1日	12月 ~8日	12月 ~15日	12月 ~22日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	14	11	15	9	23	26	18	17
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	13	7	10	11	3	12	4 (5)	10
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	4	3	2	4	7	2	1	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	2	2	4	2	7	4	6	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	4	2	1	3	1	3	0	3
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	0	0	1	0	0	1	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	0	1	3	2	0	1	6	8

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和元年第51週(12月16日~12月22日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	1	結核	1					1		
三類	1	パラチフス	1						1	
四類	2	つつが虫病	1							1
		日本紅斑熱	1			1				
五類全数	9	アメーバ赤痢	1					1		
		急性脳炎	1					1		
		梅毒	3		1			2		
		百日咳	4		1			1		2

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市 西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町 北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1. インフルエンザ

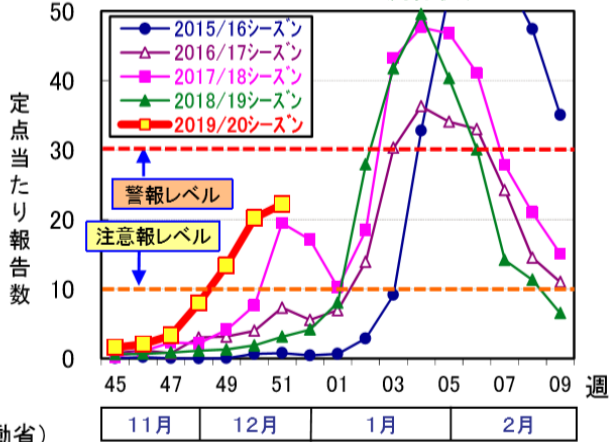
定点当たり22.2人と、流行が本格化しています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は28件報告されています。今後、さらに流行が拡大する可能性があります。注意が必要です。
 流水・石けんによる手洗い、咳エチケットの励行、適度な湿度(50～60%)の保持などインフルエンザ対策を徹底しましょう。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり8.25人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。

【参考】今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号			
小児科	インフルエンザ	822	22.22	8.54	→	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.61	→	小児科	RSウイルス感染症	10	0.42	0.77
小児科	咽頭結膜熱	12	0.50	0.31	→	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	→	眼科	流行性角結膜炎	7	0.88	0.90
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	2.13	3.48	→		細菌性髄膜炎	-	-	-	→		無菌性髄膜炎	-	-	0.06
	感染性胃腸炎	198	8.25	11.16	→	基幹	マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.17	→	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	水痘	10	0.42	0.67	→		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.09	→					
	手足口病	8	0.33	0.68	→											
	伝染性紅斑	20	0.83	0.32	→											
	突発性発しん	6	0.25	0.38	→											
ヘルパンギーナ	-	-	0.09	→												

急増減 ↑ (赤) ↓ (青) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 → (黄) ← (青) 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ⇄ (白) 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	146	女性(70歳代)
5	アメーバ赤痢	1	10	男性(40歳代)
5	急性脳炎	1	18	男性(10歳未満)
5	梅毒	2	73	男性(20歳代)、女性(40歳代)
5	百日咳	1	92	男性(20歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.6) 気管支炎	8	男	2019/11/10	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
無菌性髄膜炎	発熱(38.9) 髄膜炎	7	男	2019/11/08	咽頭拭い液 髄液 糞便	エコーウイルス30型
その他の呼吸器疾患	発熱(41.0) 肺炎	8	女	2019/11/09	喀痰・気管吸引物	パラインフルエンザウイルス2型
その他の疾患	発熱	0	女	2019/11/12	髄液	エコーウイルス30型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載